

みずほCustomer Desk Report 2017/12/22号(As of 2017/12/21)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.28
TKY 9:00AM	113.25	1.1878	134.51	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.63	1.1889	134.88	1.3369	0.7672
SYD-NY Low	113.19	1.1849	134.44	1.3387	0.7707
NY 5:00 PM	113.33	1.1874	134.55	1.3332	0.7655
NY DOW	24,782.29	55.64	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,965.36	4.40	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,684.57	5.32	米国2年債	1.8755	2.08bp
日経平均	22,866.10	▲ 25.62	米国5年債	2.2426	0.68bp
TOPIX	1,822.61	1.45	米国10年債	2.4835	▲ 1.26bp
シゴ日経先物	22,830	▲ 25	独10年債	0.4145	1.20bp
ロンドンFT	7,603.98	78.76	英10年債	1.2610	1.10bp
DAX	13,109.74	40.57	豪10年債	2.6545	2.45bp
ハンセン指数	29,367.06	132.97	USDJPY 1M Vol	6.33	▲ 0.10%
上海総合	3,300.06	12.45	USDJPY 3M Vol	7.58	0.04%
NY金	1,270.60	1.00	USDJPY 6M Vol	8.10	▲ 0.04%
WTI	58.23	0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.44	Yen Call Over
CRB指数	187.74	0.65	EURJPY 3M Vol	8.08	0.03%
ドルインデックス	93.27	▲ 0.04	EURJPY 6M Vol	8.35	0.00%

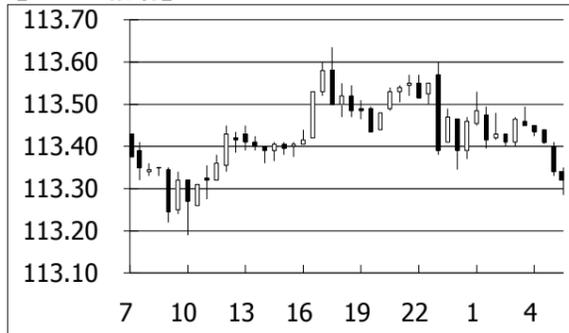
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月21日	-	日 日銀金融政策決定会合	「金融政策の現状維持を決定」	
	15:30	日 黒田日銀総裁 会見	「現状のイールドカーブ変える必要ない」	
	22:30	米 GDP(前期比・前年比)・確報	3Q 3.2%	3.3%
	22:30	米 コアPCE(前期比)・確報	3Q 1.3%	1.4%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 245K	233K
	22:30	米 フィラデルフィア連銀製造業指数	12月 26.2	21.0
12月22日	0:00	欧 消費者信頼感・速報	12月 0.5	0.2
	0:00	米 景気先行指数	11月 0.4%	0.4%

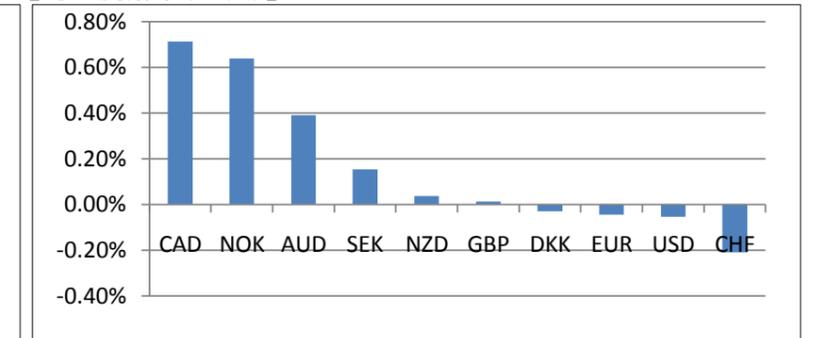
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月22日	18:30	英 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.4%/1.5%	0.4%/1.5%
	22:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	11月 0.4%/0.5%	0.4%/0.3%
	22:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	11月 0.1%/1.5%	0.2%/1.4%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・確報	11月 2.0%	-0.8%
	22:30	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	11月 0.5%	0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.10-113.80	1.1800-1.1880	134.20-135.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は112円台後半からじりじりと上昇。黒田日銀総裁の「景気がいいからそろそろ金利を上げるとの考えはない」との発言が意識され、113.63まで上昇した。本日のドル円は113円台で底堅い展開になるも、小幅なレンジでの推移になろう。先月、黒田日銀総裁は緩和の副作用である「リバーサル・レート」に言及したことが緩和縮小への布石と憶測を呼んでいたものの、引き続き緩和を継続する方針を示したことはFRBとの金融政策の違いを際立たせ、ドル円の押し上げ要因になると考える。しかし来週には米欧などがクリスマス休暇に入ることから市場参加者が減少する中、大きく上昇する可能性は低いだらう。

東京	東京時間のドル円は113.25レベルでオープン。前日の米長期金利の上昇を背景にドル円は朝方から底堅い推移が続くも、前日比マイナス圏で寄り付いた日経平均株価がマイナス幅を拡大させるとドル円は一時113.19まで弱含む展開。日銀金融政策決定会合では、事前予想通り金融政策の現状維持が決定されるも、片岡委員から「10年以上の金利引き下げが適当」「目標達成後ずれなら追加緩和と適当との記述が必要」として金融政策の据え置きに反対し、引き続きの追加緩和姿勢を示したことからドル円は113.45まで小幅に上昇。午後にかけては特段主だった材料の無い中で横這い推移となり、結局113.41レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.41レベルでオープン。黒田日銀総裁による記者会見では、「好景気だからと言って利上げする考えはない」「現状のイールドカーブを変える必要があるとは思っていない」などの発言に現状の緩和政策維持が意識される中、ドル円はこの日の高値となる113.63まで上昇。円売りが一服すると、その後はやや材料難となる中で利益確定のドル売り円買いの動きに押され、113.53レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1870レベルでオープン。仏製造業景況感総合指数が2007年12月以来の高水準となり、1.1889まで堅調に推移。1.1863レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	先月チュリッヒでの講演で効派な発言があり、この日の日銀金融政策決定会合後の黒田総裁の記者会見に注目が集まったが、引き続き大規模な金融緩和が継続されることになり、ドル円は113.63まで上昇し、113.53レベルでNYオープン。朝方は米第3四半期GDP確報値の発表を前にを期待感が増す中で113.60まで戻すが、結果はやや下振れする内容となり同時に発表された新規失業保険申請件数が予想を上回り、ドル円は反転下落する。その後も、前日比プラスで寄り付いた米株が上げ幅を縮小させる展開に113.35まで下押しする展開。正午前に113.53まで戻すものの、米下院での暫定予算案の採決を夕方に控え、引けにかけては米金利の低下を背景にじり安で推移し、結局113.33レベルでクロスした。一方スペインでは、カタルーニャ州議会選挙が行われているが、為替市場に与える影響は限定的との見方から、海外市場のユーロドルは、1.1863-89での狭いレンジでの推移が続く。ユーロ円の利益確定の売りにユーロドルも上値を抑えられ、1.1863レベルでNYオープン。朝方は、米GDP結果発表を受けたドル売りに1.1871まで戻すが、ユーロ円が下落する展開を受け、1.1849まで下落する。午後は1.1870を挟んでの閑散な取引が続く、1.1874レベルでクロスした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田家・鶴田